

越前市スポーツ施設再配置計画



平成 29 年 8 月改築 武生中央公園総合体育館

平成 26 年 3 月策 定

平成 31 年 3 月見直し

越前市教育委員会

目 次

第 1 章 基本的な考え方

- 1 計画の背景と位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 計画の見直しにあたって・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 3 計画の期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第 2 章 前期 5 年間の取組み

- 1 新たに整備した施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 2 改修した施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 3 廃止・機能移転した施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 4 前期 5 年間の整備内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

第 3 章 施設の現状と評価

- 1 施設概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 2 施設の評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

第 4 章 実施プログラム

- 1 用途別の方向性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- 2 後期 5 年の施設別方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

第 5 章 施設の再配置計画のまとめ

- 1 施設の再配置計画のまとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37

資料編

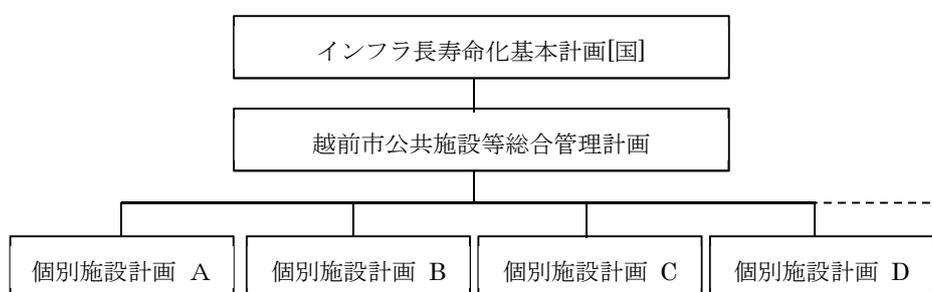
第1章 基本的な考え方

1 計画の背景と位置づけ

平成26年3月に、長期的な人口減少など地域社会の動向を見据えつつ、スポーツ施設の今後のあり方を整理し、スポーツ施設の配置の最適化を図ることにより効率的で効果的な運営・維持管理を実現するための計画として「越前市スポーツ施設再配置計画」（以下「再配置計画」という）を策定しました。

また、市では、国が策定した「インフラ長寿命化計画」を上位計画とし、越前市の全ての公共施設等について基本的な方針を示した行動計画として「越前市公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」という）を平成29年3月に策定しました。

それにより、再配置計画は、総合管理計画の個別施設計画と位置づけられました。



総合管理計画では、今後の人口減少による税収減少や少子高齢化による社会保障費の増加が見込まれる中、公共施設等の改修や建替えのための財源を確保していくことは非常に困難であると考えられることから、施設保有面積を今後40年間で3割減少としています。

今般の再配置計画の見直しでは、上位計画である総合管理計画に準じた、最適なスポーツ施設の再配置を実現します。

2 計画の見直しにあたって

福井国体の開催に向け、平成26年度から平成30年度までは、前期5年間の実施計画対象期間として国体開催施設等を重点的・優先的に整備を進めてきました。

令和元年度から令和5年度までの後期5年間については、策定時「基本計画」と位置付けていたものや前期期間中に方針に変更があったものを国体終了後に施設状況の分析・評価を行い、越前市スポーツ推進審議会において審議する中で、「実施計画」として見直し、整備を実施することといたします。

3 計画の期間

本計画の期間は、平成26年度から令和5年度までの10年間とします。

第2章 前期5年間の取組み

1 新たに整備した施設



越前市弓道場

【施設概要】

- 平成26年3月新築、武生中央公園弓道場から機能移転
- 近的9人立ち、遠的3人立ち

越前市サッカー場

【施設概要】

- 平成28年4月新築、武生中央公園多目的グラウンドから機能移転
- 一般用1面(105m×68m)
(少年用2面)
- 休憩所、照明設備有り



武生中央公園総合体育館

【施設概要】

- 平成29年8月に改築(複合化)
- メインアリーナ、サブアリーナ、会議室
多目的ルーム、トレーニングルーム
ウェイトリフティングルーム、ランニングコース



メインアリーナ



高瀬トレーニングセンターから
機能移転したウェイトリフティングルームと
トレーニングルーム



ランニングコース



会議室

2 改修した施設



【改修概要】

- 平成28年4月改修
- 人工芝8面
- 福井国体練習用人工芝コート4面整備
(庭球場東側多目的広場)

武生中央公園庭球場

武生東運動公園ソフトボール場

【改修概要】

- 平成29年3月グラウンド改修
- ソフトボール場4面
- 照明設備有り(2面分)



武生東運動公園陸上競技場



【改修概要】

- 平成27年3月芝生の張替え
- 平成28年3月3種公認更新に向けたトラック改修

3 廃止・機能移転した施設

- ・武生中央公園野球場
- ・武生中央公園多目的グラウンド
- ・今立中央公園水泳場
- ・越前市高瀬トレーニングセンター
- ・越前市今立ふれあいプラザ



イベント広場として整備された
武生中央公園多目的グラウンド

4 前期5年間の整備内容

施設名称	整備内容
武生中央公園体育館	【改築】 平成29年8月に武生中央公園総合体育館に改築。
武生中央公園野球場	【移転】 平成25年9月に丹南総合公園野球場に機能移転。
武生中央公園庭球場	【改修】 平成28年4月にコート改修。平成29年3月に管理棟改築。平成29年6月に隣接して練習用コート4面（人工芝多目的広場）を整備。
武生中央公園弓道場	【移転】 平成26年3月に武生第二中学校南に新築移転。近的6人立ち→近的9人立ち、遠的3人立ち。
武生中央公園多目的グラウンド	【移転】 平成28年4月に新サッカー場に一部機能移転。跡地については、平成30年8月にイベント用広場に改修。
武生東運動公園ソフトボール場	【改修】 平成29年3月にグラウンド改修。
武生東運動公園陸上競技場	【改修】 平成27年3月芝張替え、平成28年3月公認更新に向けた改修。平成28年7月に3種公認。
今立中央公園水泳場	【廃止】 平成25年4月に廃止。
越前市高瀬トレーニングセンター	【廃止】 平成29年8月に武生中央公園総合体育館に機能移転後、廃止。
越前市今立ふれあいプラザ	【廃止】 あいぱーく今立の建築に伴い平成28年10月に廃止。



ウォーキングサッカー体験会



ミカエルエフアンツ戦（越前市の日）



ミスボの祭

第3章 施設の現状と評価

1 施設概要

表3-1 《施設一覧》

No	施設名称	主な機能	競技場面積 (㎡)	土地保有の状況	建設年度	構造	指定管理者H30	屋内	屋外	照明	バレーボール	バドミントン	バスケット	野球	ソフトボール	テニス	ゲートボール
1	武生中央公園総合体育館	体育館	2,910	市有地	2017	SRC	●	●			4	12	4				
2	武生中央公園水泳場	水泳場	7,512	市有地	1965	—	●	●									
3	武生中央公園庭球場	庭球場	7,020	市有地	1967	—	●	●	●							8	
4	武生中央公園多目的広場	グラウンド	2,980	市有地	2017	—										4	
5	越前市弓道場	武道場	1,174	市有地	2013	W		●									
6	越前市サッカー場	グラウンド	9,190	市有地	2016	—			●	●							
7	武生東運動公園ソフトボール場	グラウンド	23,000	一部借地	1977	—	●	●	●						4		
8	武生東運動公園庭球場	庭球場	4,000	市有地	1981	—	●	●								6	
9	武生東運動公園陸上競技場	グラウンド	24,900	市有地	1982	RC	●	●									
10	帆山公園庭球場	庭球場	1,600	借地	1976	—		●								2	
11	帆山公園相撲場	武道場	100	借地	1975	—		●									
12	家久スポーツ公園庭球場	庭球場	3,176	市有地	1984	—	●	●								4	
13	家久スポーツ公園温水プール	水泳場	1,388	市有地	1984	RC	●	●									
14	家久スポーツ公園ソフトボール場	グラウンド	4,974	市有地	1984	—	●	●	●						1		
15	今立中央公園多目的広場	グラウンド	5,155	一部借地	1976	—		●	●					1	2		
16	今立南部公園庭球場	庭球場	3,100	市有地	1985	—	●	●	●							4	
17	白崎公園屋内ゲートボール場	ゲートボール場	600	市有地	1990	SC	●	●									2
18	瓜生水と緑公園体育館	体育館	480	市有地	2010	SRC	●	●									
19	越前市武道館	武道場	1,328	市有地	1979	RC	●	●									
20	越前市みどりと自然の村ゲートボール場	ゲートボール場	408	市有地	1987	—	●	●									1
21	越前市みどりと自然の村テニスコート	庭球場	3,025	市有地	1981	SC	●	●	●							4	
22	越前市北新庄体育館	体育館	497	借地	1981	SC		●			1	3	1				
23	越前市北日野体育館	体育館	607	一部借地	1983	SC		●			1	4	1				
24	越前市大虫体育館	体育館	607	市有地	1983	SC		●			1		1				
25	越前市武生体育センター	体育館	807	市有地	1977	SC	●	●			1						
26	越前市今立体育センター	体育館	913	市有地	1983	RC/SRC	●	●			1	6	1				
27	越前市粟田部体育館	体育館	486	市有地	1974	SC	●	●			1	3					
28	越前市今立テニスコート	庭球場	1,835	市有地	2001	—		●									2
29	丹南総合公園野球場	グラウンド	13,527	県有地	2013	—		●	●					1			
30	丹南総合公園多目的グラウンド	グラウンド	14,240	県有地	2013	—		●	●					2	2		
31	丹南総合公園体育館	体育館	1,527	県有地	2014	SRC		●			2	8	2				
32	丹南総合公園全天候型球技場	屋内球技場	600	県有地	2014	S		●									2
	武生中央公園体育館	体育館	平成29年8月改築														
	武生中央公園野球場	グラウンド	平成26年10月廃止 丹南総合公園野球場へ機能移転														
	武生中央公園弓道場	武道場	平成26年3月新築移転														
	武生中央公園多目的グラウンド	グラウンド	平成28年4月一部機能移転、跡地は平成30年8月イベント広場として整備・所管換え														
	今立中央公園水泳場	水泳場	平成25年3月廃止														
	越前市高瀬トレーニングセンター	屋内競技場	平成29年8月廃止														
	越前市今立ふれあいプラザ	体育館	平成28年10月廃止														

2 施設の評価（平成29年実施）

・各スポーツ施設の現状を分析するため、以下の3つの側面から評価します。ここでの分析結果を踏まえ基本方針に基づき総合的な判断により、個々の施設について再配置を計画します。

・施設の再配置の判断にあたっては、利用状況やコスト面が良好な施設であっても、施設の安全性に問題がある場合は、利用者の安全性を確保するための費用対効果を最重要視して判断します。

表3-2 《施設の評価の視点と評価項目》

評価の視点		評価項目
施設の構造	利用者の安全性確保及び今後維持更新費用に大きな影響を及ぼす施設の物理的状態を表す	・構造安全性 ・老朽化状況 ・バリアフリー状況
利用状況	スポーツ施設としてのサービス水準や利用ニーズの有無を表す	・稼働率 ・稼働1日当たりの利用者数
コスト状況	施設の維持や施設での事業運営の相対的な効率性を表す	・利用者1人当たりのコスト

①施設の構造評価

・各スポーツ施設について、以下の3つの指標で構造面を評価します。

表3-3 《各評価項目ごとの指標と評価類型の考え方》

評価項目		A：(3ポイント)	B：(3ポイント)	C：(1ポイント)
施設の構造評価	構造安全性 ＜建築物＞ 既往の耐震診断結果、建設時の耐震基準（建築基準法）によりA～Cの3類型に分類	耐震診断の結果、耐震性が確保されている。又は、新耐震基準により設計されている	耐震診断の結果、ある程度の耐震性を有している	旧耐震基準により設計されており、耐震診断が未実施である。又は、耐震診断の結果Cランク以下
	＜グラウンド等＞ フェンス、照明の支柱等の劣化状況によりA～Cの3類型に分類	目視点検の結果、構造物が健全な状態と認められる	目視点検の結果、構造物の塗装の劣化、剥離が認められる	目視点検の結果、コンクリート内部に達するひび割れや欠損等が認められる
	老朽化の状況 建設後の経年数によりA～Cの3類型に分類 グラウンド、テニスコートなどの屋外施設はスタンドやフェンス、ナイター照明の支柱等の構造物の老朽化を評価	現時点で耐用年数を半分以上残している RC(建設後20年未満) SC(建設後15年未満)	耐用年数の半分が経過し、10年後には老朽化が進む RC(建設後20年～40年) SC(建設後15年～30年)	耐用年数を過ぎている。又は、耐用年数が近い施設 RC(建設後40年以上が経過) SC(建設後30年以上が経過)
	バリアフリー状況 段差への対応状況及び身障者用トイレの整備状況からA～Cの3類型に分類	対応済み ○スロープ設置など段差への対応 ○身障者用トイレ	身障者用トイレはあるが、スロープのない段差がある ×段差への対応 ○身障者用トイレ	身障者用トイレがない ○段差への対応 ×身障者用トイレ又は ×段差への対応 ×身障者用トイレ

・各スポーツ施設の構造評価の結果は表3-4のとおりです。構造安全性及び老朽化条項の両面で評価が低い施設については、利用者の安全性を確保するために、抜本的な対策が必要となります。

表3-4 《施設の構造評価結果表》

No	施設名称	主な機能	施設の構造評価		
			構造安全性	老朽化状況	バリアフリー状況
1	武生中央公園水泳場	水泳場	C	C	C
2	武生東運動公園庭球場	庭球場	B	B	C
3	帆山公園庭球場	庭球場	B	C	C
4	帆山公園相撲場	武道場	B	C	C
5	家久スポーツ公園庭球場	庭球場	A	B	A
6	家久スポーツ公園温水プール	水泳場	A	B	A
7	家久スポーツ公園ソフトボール場	グラウンド	A	B	B
8	今立中央公園多目的広場	グラウンド	C	C	C
9	今立南部公園庭球場	庭球場	C	B	C
10	白崎公園屋内ゲートボール場	ゲートボール場	A	B	A
11	瓜生水と緑公園体育館	体育館	A	A	A
12	越前市武道館	武道場	B	B	C
13	越前市みどりと自然の村ゲートボール場	ゲートボール場	A	B	C
14	越前市みどりと自然の村テニスコート	庭球場	C	B	C
15	越前市北新庄体育館	体育館	A	C	C
16	越前市北日野体育館	体育館	A	C	A
17	越前市大虫体育館	体育館	A	C	A
18	越前市武生体育センター	体育館	C	C	C
19	越前市今立体育センター	体育館	A	B	A
20	越前市粟田部体育館	体育館	C	C	C
21	越前市今立テニスコート	庭球場	A	A	C

※前期5年間で整備、改修した施設を除く

※No.8の今立中央公園多目的広場はナイター照明施設の老朽化が著しいことから、構造安全性を「C」とした。

②利用状況評価

・各スポーツ施設について以下の2つの指標で利用状況の評価します。

表3-5 《各評価項目ごとの指標と評価類型の考え方》

評価項目		A : (3ポイント)	B : (2ポイント)	C : (1ポイント)
利用状況評価	稼働率 条例及び規則による年間運営日数に対する実際の稼働日数（H29年度）の割合によりA～Cの3類型に分類	稼働率が9割を超える施設	稼働率が6割～9割の施設	稼働率が6割未満の施設
	稼働1日当たりの利用者数 稼働1日当たりの利用者数（H29年度）からA～Cの3類型に分布 ※H29 休止施設は直近利用年度のデータを使用	稼働1日当たりの利用者数が種別ごとの比較で偏差値55超 （正規分布で概ね上位3割に相当）	稼働1日当たりの利用者数が種別ごとの比較で偏差値45～55	稼働1日当たりの利用者数が種別ごとの比較で偏差値45未満

表3-6 《施設の利用状況評価結果表》

No	施設名称	主な機能	施設の利用状況評価	
			稼働率	稼働1日 当たり 利用者数
1	武生中央公園水泳場	水泳場	A	A
2	武生東運動公園庭球場	庭球場	C	C
3	帆山公園庭球場	庭球場	C	C
4	帆山公園相撲場	武道場	C	C
5	家久スポーツ公園庭球場	庭球場	C	C
6	家久スポーツ公園温水プール	水泳場	A	B
7	家久スポーツ公園ソフトボール場	グラウンド	C	C
8	今立中央公園多目的広場	グラウンド	C	C
9	今立南部公園庭球場	庭球場	C	C
10	白崎公園屋内ゲートボール場	ゲートボール場	B	B
11	瓜生水と緑公園体育館	体育館	B	C
12	越前市武道館	武道場	A	A
13	越前市みどりと自然の村 ゲートボール場	ゲートボール場	C	C
14	越前市みどりと自然の村 テニスコート	庭球場	C	C
15	越前市北新庄体育館	体育館	B	C
16	越前市北日野体育館	体育館	A	B
17	越前市大虫体育館	体育館	A	B
18	越前市武生体育センター	体育館	A	B
19	越前市今立体育センター	体育館	A	B
20	越前市粟田部体育館	体育館	A	B
21	越前市今立テニスコート	庭球場	C	C

- ・各スポーツ施設の利用状況評価の結果は表3-6のとおりです。グラウンドなどの屋外施設は、天候の影響を受けることから全体的に稼働率が低い状況にあります。
- ・主な機能が同一の施設でも施設によって利用状況評価に差が生じており、評価が低い施設については、各競技のスポーツ人口の多寡を考慮した上で、利用促進又はあり方の検討などの対策が必要となります。特に稼働率が高い一方で稼働1日当たり利用者数が少ない施設は、ニーズに合わせた運営を検討する必要があります。

※前期5年間で整備、改修した施設を除く

③コスト状況評価

・各スポーツ施設が市民のスポーツ需要に応えるためには、光熱水費や建物管理委託費などの施設維持に要するコスト、職員人件費や指定管理者人件費などの施設

での事業運営にコストを要しています。ここでは、利用者1人当たりのトータルコストを比較し、相対的なコストパフォーマンスを評価します。

表3-7 《各評価項目ごとの指標と評価類型の考え方》

評価項目		A : (3ポイント)	B : (2ポイント)	C : (1ポイント)
コスト状況評価	施設のトータルコスト 平成 29 年度の利用者1人当たりのトータルコスト（コストパフォーマンス）からA～Cの3類型に分類 トータルコストは、光熱水費や建物管理委託費などの施設維持に要するコスト、職員人件費や指定管理者等人件費などの施設での事業運営に要するコストの総計 ※H29 休止施設は直近利用年度のデータを使用	利用者1人当たりのコストが種別ごとの比較で偏差値 45 未満 （正規分布で概ね上位3割に相当）	利用者1人当たりのコストが種別ごとの比較で偏差値 45～55 （正規分布で中央値50を挟んで4割に相当）	利用者1人当たりのコストが種別ごとの比較で偏差値 55 超 （正規分布で概ね下位3割に相当）

表3-8 《施設のコスト状況評価結果》

No	施設名称	主な機能	コスト 状況評価
1	武生中央公園水泳場	水泳場	C
2	武生東運動公園庭球場	庭球場	B
3	帆山公園庭球場	庭球場	C
4	帆山公園相撲場	武道場	C
5	家久スポーツ公園庭球場	庭球場	A
6	家久スポーツ公園温水プール	水泳場	A
7	家久スポーツ公園ソフトボール場	グラウンド	B
8	今立中央公園多目的広場	グラウンド	C
9	今立南部公園庭球場	庭球場	B
10	白崎公園屋内ゲートボール場	ゲートボール場	B
11	瓜生水と緑公園体育館	体育館	C
12	越前市武道館	武道場	B
13	越前市みどりと自然の村 ゲートボール場	ゲートボール場	C
14	越前市みどりと自然の村 テニスコート	庭球場	C
15	越前市北新庄体育館	体育館	A
16	越前市北日野体育館	体育館	A
17	越前市大虫体育館	体育館	A
18	越前市武生体育センター	体育館	A
19	越前市今立体育センター	体育館	C
20	越前市粟田部体育館	体育館	A
21	越前市今立テニスコート	庭球場	B

※前期5年間で整備、改修した施設を除く

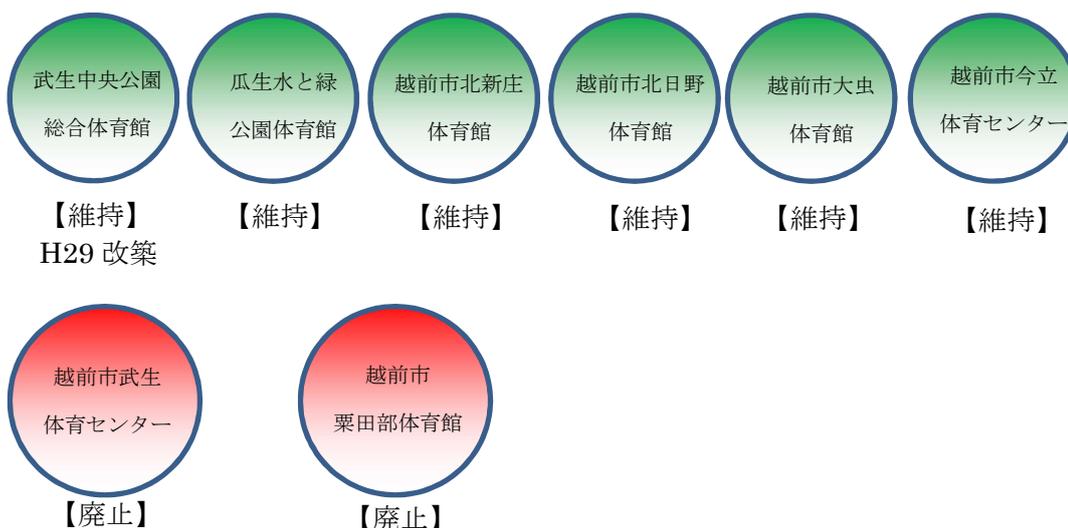
- ・各スポーツ施設のコスト状況評価の結果は表3-8のとおりです。
- ・主な機能が同一の施設でも施設によってコスト状況評価に差が生じており、評価が低い施設は、利用の促進や運営方法の見直しによるコストの削減が必要です。

第4章 実施プログラム

1 用途別の方向性

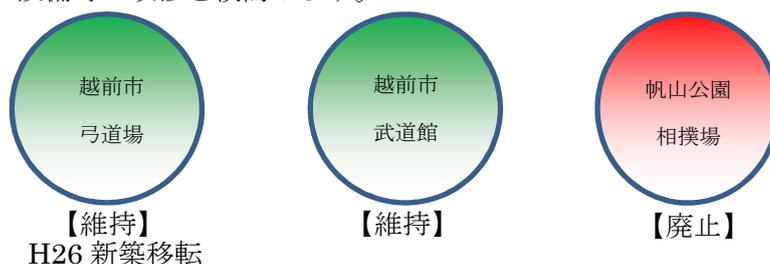
① 体育館

- 構造安全性が保てない施設においては、廃止
 - ・ 体育館は、各種大会開催の拠点となる武生中央公園総合体育館が改築され、今後は、地区体育館について、特に老朽化、構造安全性を踏まえ、最適配置を進めます。
 - ・ 越前市武生体育センター及び越前市栗田部体育館においては、耐震性が劣るため、廃止します。越前市武生体育センターについては、体操競技を主とした施設であるため、代替施設へ機能移転を検討、栗田部体育館については、近隣施設へ利用者を誘導します。
 - ・ 今立ふれあいプラザについては、あいぱーく今立の建築に伴い、耐震性に問題もあったことから前期期間中（平成28年10月）に廃止をしました。



② 武道場

- 越前市武道館及び越前市弓道場の2施設体制
 - ・ 帆山公園相撲場については、市民大会の開催以外に利用がなく、ここ数年、市民大会の開催が行われないことも多く、隣接する庭球場と合わせて廃止します。
 - ・ 越前市武道館は、柔道、剣道の拠点であり、利用者も多いため、床の張替えや空調設備等の改修を検討します。



③水泳場

- 屋内プールは維持、屋外プールは縮小再整備
 - ・通年で利用可能な家久スポーツ公園温水プールは、維持します。
 - ・前期期間中に循環ポンプが故障し、躯体・配管等の老朽化も著しい武生中央公園水泳場については、4つのプール全てを解体し、新たに短水路（25m）とスライダー付幼児プールの2つに縮小し、再整備します。



【縮小再整備】



【維持】

④グラウンド

- スポーツ施設として6グラウンド体制とし、丹南総合公園と役割分担を図る
 - ・武生中央公園多目的グラウンドのサッカー機能移転後については、だるまちゃん広場のオープンに伴う公園利用者増加に対応した、天然芝のイベント広場として用途変更しました。
 - ・国体用練習コートとして整備された武生中央公園多目的広場については、国体終了後、テニス以外にもフットサルやグラウンドゴルフ等、多目的利用できる広場として活用します。
 - ・武生東運動公園陸上競技場については、今後も公認更新を継続するため、計画的に改修を行います。



【維持】
H28 新築



【維持】



【維持】



【維持】



【維持】

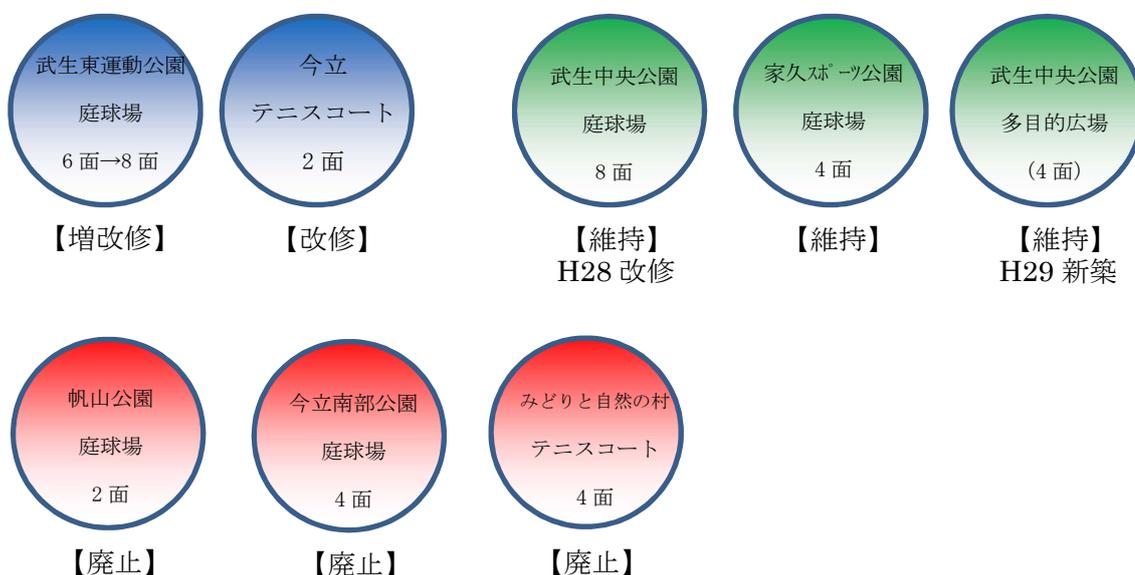


【維持】
H29 新築

⑤庭球場

●武生東運動公園庭球場を増改修することによりコート数を統合

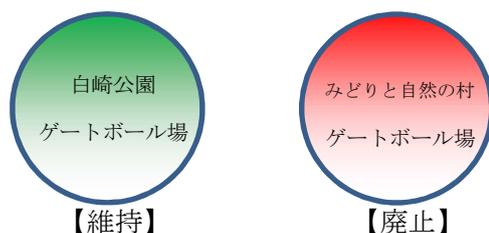
- ・市内庭球場の中で、老朽化の著しい帆山公園庭球場とみどりと自然の村テニスコート、利用が少ない今立南部公園庭球場の合計3ヶ所10面を廃止し、日野川東部地域でのテニスの拠点として、東運動公園庭球場を改修し、6面から大会開催可能な8面に増設します。
- ・国体用練習コートとして整備された武生中央公園多目的広場については、国体終了後、テニス以外にもフットサルやグラウンドゴルフ等、多目的利用できる広場として活用します。
- ・今立テニスコートについては、水害に遭いやすい立地であるため、人工芝以外の仕様で改修いたします。



⑥ゲートボール場

●越前市みどりと自然の村ゲートボール場の用途変更

- ・みどりと自然の村ゲートボール場は、ゲートボールの利用はありませんが、平地が少ない施設であるため、軽運動の場として多目的広場に用途変更します。
- ・白崎公園ゲートボール場は、市内で唯一の屋内ゲートボール専用場であるため、今後も機能を維持するため、計画的に修繕を行います。



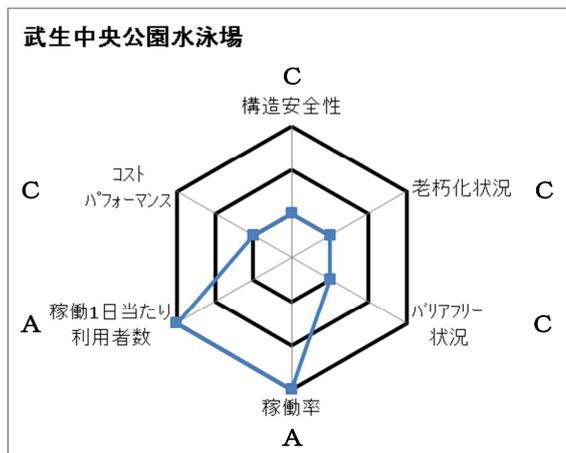
2 後期5年間の施設別方針

No.	施設名称	見直し前計画方針	見直し前の再配置方針	見直し後の整備方針	前期	後期5年					
					平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	
1	武生中央公園水泳場	統合 (集約化)	幼児用プールの規模縮小	【縮小再整備】平成28年8月に循環ポンプが故障。 50mプールを廃止することとし、新たに25mと幼児用を整備		実施設計	再整備				
2	武生東運動公園庭球場	統合 (集約化)	後期実施計画期間中に方針決定	【増改修】平成30年度に長寿命化計画策定後、改修及び2面増設			実施設計	増改修			
3	帆山公園庭球場	統合 (集約化)	後期実施計画期間中に方針決定	【廃止】平成30年度で廃止 スポーツ施設としては整備しない	廃止				公園施設として管理		
4	帆山公園相撲場	維持		【廃止】平成30年度で廃止 スポーツ施設としては整備しない	廃止				公園施設として管理		
5	家久スポーツ公園庭球場	統合 (集約化)	後期実施計画期間中に方針決定	【維持】機能維持のため、計画的に修繕							
6	家久スポーツ公園温水プール	維持		【維持】機能維持のため、計画的に修繕							
7	家久スポーツ公園ソフトボール場	維持		【維持】機能維持のため、計画的に修繕							
8	今立中央公園多目的広場	維持	照明施設の改修	【維持】機能維持のため、計画的に修繕							
9	今立南部公園庭球場	統合 (集約化)	後期実施計画期間中に方針決定	【廃止】東運動公園庭球場の整備後、多目的広場として用途変更					用途変更		
10	白崎公園屋内ゲートボール場	維持		【維持】機能維持のため、計画的に修繕							
11	瓜生水と緑公園体育館	維持		【維持】機能維持のため、計画的に修繕							
12	越前市武道館	維持		【維持】機能維持のため、計画的に修繕							
13	越前市みどりと自然の村 テニスコート	統合 (集約化)	前期実施計画期間中に方針決定	【廃止】老朽化が著しく平成30年度で廃止 多目的広場として利用	用途変更						
14	越前市みどりと自然の村 ゲートボール場	統合 (集約化)	前期実施計画期間中に跡地利用の方針決定を行い、廃止	【廃止】多目的広場として利用	用途変更	オートキャンプ試験運用					
15	越前市北新庄体育館	維持		【維持】機能維持のため、計画的に修繕							
16	越前市北日野体育館	維持		【維持】機能維持のため、計画的に修繕							
17	越前市大虫体育館	維持		【維持】機能維持のため、計画的に修繕							
18	越前市武生体育センター	維持		【廃止】耐震診断結果がE判定により、補強工事、再建築工事は行わず、 代替施設を検討。 後期間中に機能移転後廃止					機能移転後廃止		
19	越前市今立体育センター	統合 (集約化)	後期実施計画期間中に方針決定 (実施計画期間中に耐震診断を実施)	【維持】機能維持のため、計画的に修繕							
20	越前市粟田部体育館			【廃止】後期間中にあいぱーく今立、今立体育センター、学校施設等へ 利用者の誘導を図り、廃止		廃止					
21	越前市今立テニスコート	統合 (集約化)	後期実施計画期間中に方針決定	【改修】大雨対策のため、人工芝以外の仕様で改修		改修					

1. 武生中央公園水泳場：【縮小再整備】

建設年度：昭和40年度

- ・ 建築後50年以上が経過し、躯体・配水管・ろ過機等、全てが老朽化し限界に達しています。
- ・ 平成28年に循環ポンプが故障し、水泳場の運営ができなくなりました。当初計画では前期期間中に幼児プール1つを廃止（規模縮小）することとしていましたが、老朽化が著しいため、後期期間中に4つ全てのプールを解体し、50mプールについては廃止することとし、25mプールとスライダー付きの幼児プールを各1つずつ再整備いたします。



■評価

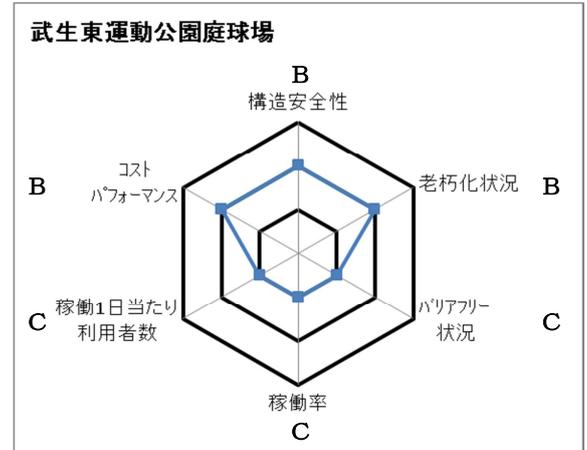
評価項目	評価	評価内容
構造安全性	C	プールサイド躯体に大きな亀裂。プールサイドのクラック多数。プール内塗装の劣化。
老朽化状況	C	建設後の経過年数：53年 > 40年
バリアフリー状況	C	身障者トイレ無し/大きな段差有り
稼働率	A	稼働率：0.95 > 0.9 運営日数：43日、稼働日数41日
稼働1日当たりの利用者数	A	偏差値：64.0 > 55 稼働1日当たりの利用者数：153.8人、利用者数：6,305人 ※H27データ
コスト状況	C	偏差値：63.0 > 55 利用者1人当たりのコスト：2,540円/人 ※H27データ



2. 武生東運動公園庭球場：【増改修】

建設年度：昭和 56 年度

- ・コート仕様がハード（3面）とクレー（3面）の2種類ありますが、両方ともコート表面の老朽化が進行しており、利用者数は伸びていません。
- ・武生中央公園庭球場に大会等が集中し、一般の方が利用しにくい状況となっていることから、駐車場も広く、敷地にも余裕のある武生東運動公園庭球場を改修及び8面に増設整備し、市東部の庭球場の拠点といたします。



■評価

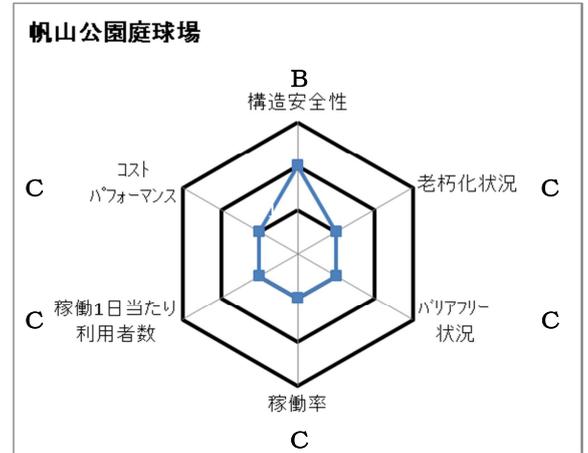
評価項目	評価	評価内容
構造安全性	B	目視点検の結果、フェンスに塗装の剥離、錆が認められる
老朽化状況	B	建設後の経過年数：20年 < 37年 < 40年
バリアフリー状況	C	身障者トイレ無し/段差のない経路有り
稼働率	C	稼働率：0.34 < 0.6 運営日数：359日、稼働日数：122日
稼働1日当たりの利用者数	C	偏差値：42.4 < 45 稼働1日当たりの利用者数：9.9人、利用者数：1,207人
コスト状況	B	偏差値：45 < 53.0 < 55 利用者1人当たりのコスト：405円/人



3. 帆山公園庭球場：【廃止】

建設年度：昭和 51 年度

- ・平成 22 年度に亀裂補修を行いました。が、補修箇所も含め、さらに亀裂が増えており、利用者数も稼働日数も少ないのが現状です。
- ・武生東運動公園庭球場整備を前提に廃止し、廃止後は公園施設として管理します。



■評価

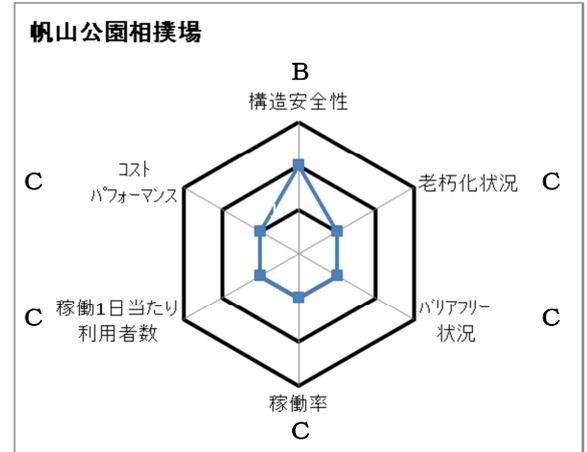
評価項目	評価	評価内容
構造安全性	B	目視点検の結果、フェンスに塗装の剥離、たわみが生じている
老朽化状況	C	建設後の経過年数： <u>42年</u> >40年
バリアフリー状況	C	身障者トイレ無し/大きな段差無し
稼働率	C	稼働率： <u>0.25</u> <0.6 運営日数：359日、稼働日数：88日
稼働1日当たりの利用者数	C	偏差値： <u>41.7</u> <45 稼働1日当たりの利用者数：6.0人、利用者数：528人
コスト状況	C	偏差値：55< <u>64.6</u> 利用者1人当たりのコスト：757円/人



4. 帆山公園相撲場：【廃止】

建設年度：昭和 50 年度

- ・競技人口が非常に少なく、稼働日数も市民大会での利用に限られており、近年、大会においても参加者数が少なく開催されない年もあります。
- ・柱、梁、照明器具等、全体的に錆び・腐食が見られますが、緊急に改修を要しない程度です。隣接する庭球場を廃止するにあたり、利用の少ない相撲場も今後の敷地の利活用を考慮し廃止します。廃止後は、公園施設として管理します。



■評価

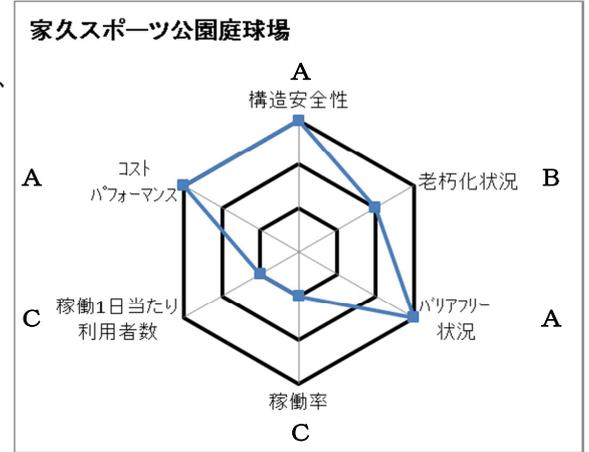
評価項目	評価	評価内容
構造安全性	B	目視点検の結果、柱、梁等に腐食が見られる。
老朽化状況	C	建設後の経過年数： <u>43年</u> >40年
バリアフリー状況	C	身障者トイレ無し/大きな段差無し
稼働率	C	稼働率： <u>0.0</u> <0.6 運営日数：365日、稼働日数：0日
稼働1日当たりの利用者数	C	偏差値： <u>36.8</u> <45 稼働1日当たりの利用者数：0人、利用者数：0人
コスト状況	C	偏差値： <u>67.3</u> >55 利用者1人当たりのコスト：135,081円/人



5. 家久スポーツ公園庭球場：【維持】

建設年度：昭和 59 年度

- ・建設後 30 年経過して老朽化していますが、他の庭球場のハードコートと比較すると状態は良い方で、利用人数も武生中央公園庭球場に次いで多い現状です。
- ・コート数が少なく大会の開催が困難であるため、個人利用が中心となっています。
- ・今後とも機能を維持するために計画的に修繕を行います。



■評価

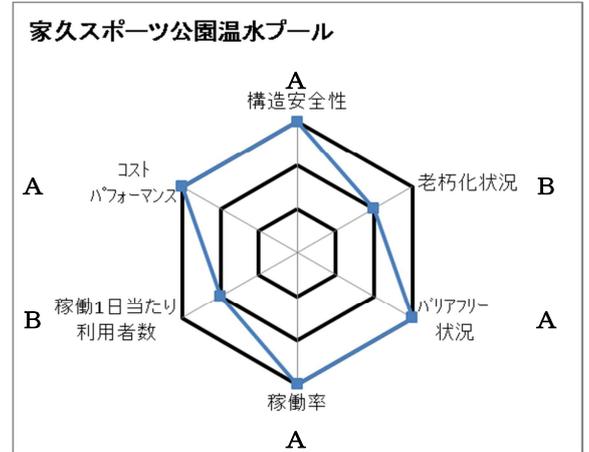
評価項目	評価	評価内容
構造安全性	A	目視点検の結果、構造上の問題は認められない
老朽化状況	B	建設後の経過年数：20年 < 34年 < 40年
バリアフリー状況	A	身障者トイレ有り/大きな段差無し
稼働率	C	稼働率：0.42 < 0.6 運営日数：359日、稼働日数：149日
稼働1日当たりの利用者数	C	偏差値：44.0 < 55 稼働1日当たりの利用者数：17.9人、利用者数：2,661人
コスト状況	A	偏差値：43.3 < 45 利用者1人当たりのコスト：110円/人



6. 家久スポーツ公園温水プール：【維持】

建設年度：昭和 59 年度

・建設後 30 年経過して老朽化していますが、年間を通じて利用できる水泳場として、今後とも機能を維持するために計画的に修繕を行います。



■評価

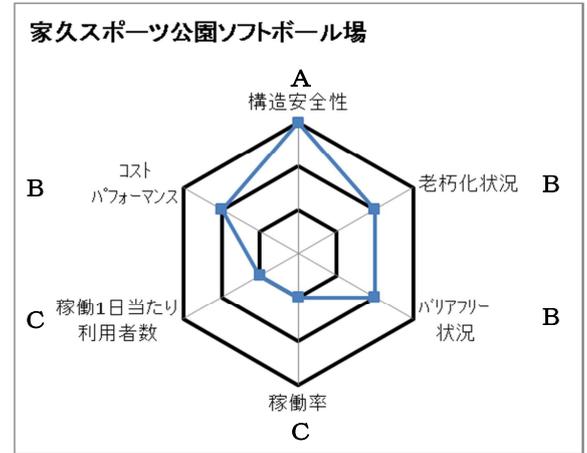
評価項目	評価	評価内容
構造安全性	A	新耐震基準により設計されている
老朽化状況	B	建設後の経過年数：20年 < 34年 < 40年
バリアフリー状況	A	身障者トイレ有り/大きな段差無し
稼働率	A	稼働率：1.00 > 0.9 運営日数：299日、稼働日数：299日
稼働1日当たりの利用者数	B	偏差値：45 < 48.1 < 55 稼働1日当たりの利用者数：50.1人、利用者数：14,988人
コスト状況	A	偏差値：44.5 < 45 利用者1人当たりのコスト：1,657円/人



7. 家久スポーツ公園ソフトボール場：【維持】

建設年度：昭和 59 年度

- ・建設後 30 年経過して老朽化していますが、同公園内にある自由広場と共に少年野球場としての利用が多くなっています。
- ・グラウンドの表面の劣化が著しいため、今後、グラウンドの整備など計画的に修繕を行います。



■評価

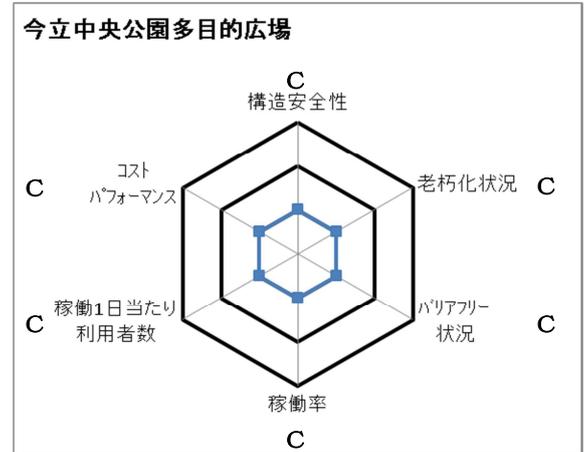
評価項目	評価	評価内容
構造安全性	A	目視点検の結果、構造上の問題は認められない
老朽化状況	B	建設後の経過年数：20年 < 34年 < 40年
バリアフリー状況	B	身障者トイレ有り/スタンドの段差、階段にスロープ無し
稼働率	C	稼働率：0.27 < 0.6 運営日数：359日、稼働日数：97日
稼働1日当たりの利用者数	C	偏差値：39.4 < 45 稼働1日当たりの利用者数：49.2人、利用者数：4,777人
コスト状況	B	偏差値：45 < 48.8 < 55 利用者1人当たりのコスト：193円/人



8. 今立中央公園多目的広場：【維持】

建設年度：昭和 51 年度

・建設後 40 年以上経過しており、ナイター照明施設の腐食が著しく、老朽化が進行しています。後期期間中にナイター照明施設の調査を行い、修繕を行います。



■評価

評価項目	評価	評価内容
構造安全性	C	照明施設の設備の一部が落下する事案が発生している 目視点検の結果、照明施設に塗装の剥離、腐食が生じている
老朽化状況	C	建設後の経過年数： <u>42年</u> >40年
バリアフリー状況	C	身障者トイレ無し/大きな段差無し
稼働率	C	稼働率： <u>0.04</u> <0.6 運営日数：359日、稼働日数：15日
稼働1日当たりの利用者数	C	偏差値： <u>37.1</u> <45 稼働1日当たりの利用者数：39.3人、利用者数：590人
コスト状況	C	偏差値： <u>71.5</u> >55 利用者1人当たりのコスト：1,175円/人

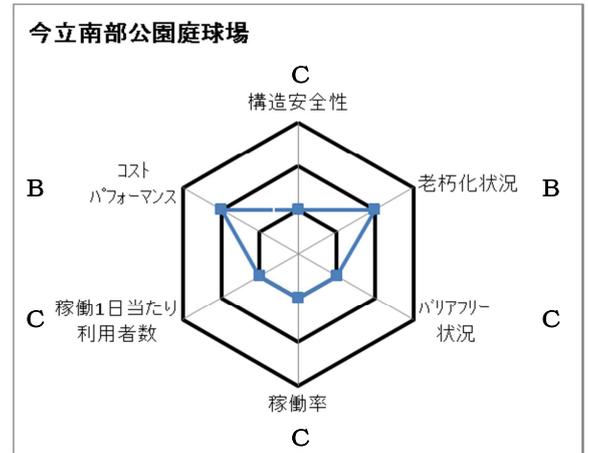


9. 今立南部公園庭球場：【廃止】

建設年度：昭和 60 年度

・建設後 30 年以上が経過しており、ナイター照明の腐食が発生しているため、一部照明を撤去しています。ナイター利用も含め、利用者が少なくなっています。

・武生東運動公園庭球場への集約に合わせて廃止し、廃止後は、多目的広場として用途変更いたします。



■評価

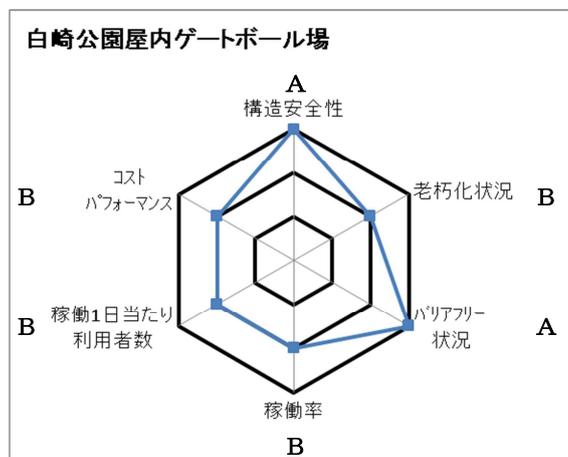
評価項目	評価	評価内容
構造安全性	C	目視点検の結果、照明施設に塗装の剥離、腐食が生じている
老朽化状況	B	建設後の経過年数：20年 < 33年 < 40年
バリアフリー状況	C	身障者トイレ無し/大きな段差有り
稼働率	C	稼働率：0.29 < 0.6 運営日数：359日、稼働日数：103日
稼働1日当たりの利用者数	C	偏差値：42.1 < 45 稼働1日当たりの利用者数：8.2人、利用者数：844人
コスト状況	B	偏差値：45 < 47.2 < 55 利用者1人当たりのコスト：228円/人



10. 白崎公園屋内ゲートボール場：【維持】

建設年度：平成2年度

・建設後30年近く経過していますが、市内唯一の屋内ゲートボール場であるため、今後とも機能を維持するために計画的に修繕を行います。



■評価

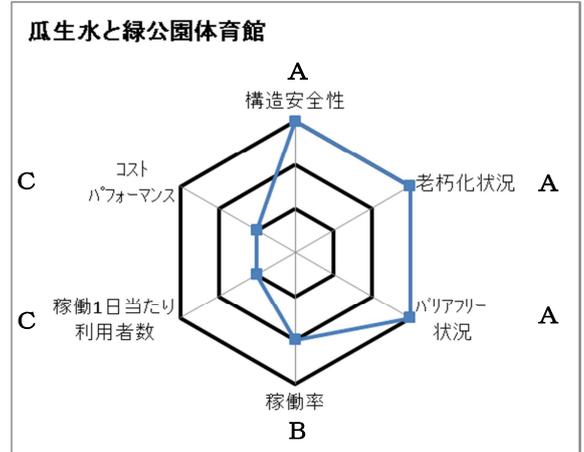
評価項目	評価	評価内容
構造安全性	A	新耐震基準により設計されている
老朽化状況	B	建設後の経過年数：20年 < 28年 < 40年
バリアフリー状況	A	身障者トイレ有り/大きな段差の無い経路有り
稼働率	B	稼働率：0.6 < 0.79 < 0.9 運営日数：295日、稼働日数：233日
稼働1日当たりの利用者数	B	偏差値：45 < 50 < 55 稼働1日当たりの利用者数：16.3人、利用者数：3,796人
コスト状況	B	偏差値：45 < 50 < 55 利用者1人当たりのコスト：1,131円/人



11. 瓜生水と緑公園体育館：【維持】

建設年度：平成 22 年度

・比較的新しい施設であるため、今後とも機能を維持するため計画的に修繕を行います。



■評価

評価項目	評価	評価内容
構造安全性	A	新耐震基準により設計されている
老朽化状況	A	建設後の経過年数： <u>8年</u> < 20年
バリアフリー状況	A	身障者トイレ有り/大きな段差無し
稼働率	B	稼働率： $0.6 < \underline{0.85} < 0.9$ 運営日数：308日、稼働日数：263日
稼働1日当たりの利用者数	C	偏差値： <u>43.6</u> < 45 稼働1日当たりの利用者数：16.0人、利用者数：4,219人
コスト状況	C	偏差値： $55 < \underline{61.4}$ 利用者1人当たりのコスト：436円/人

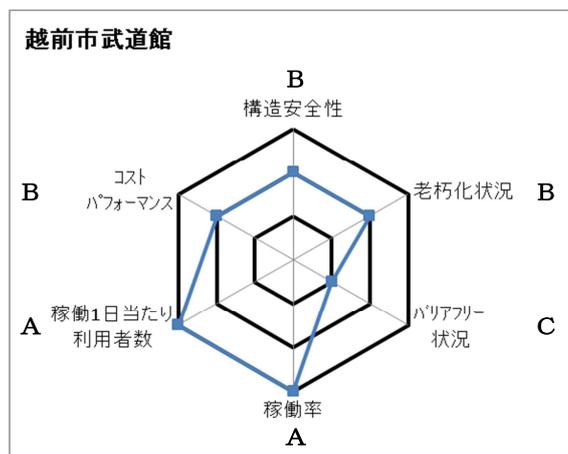


12. 越前市武道館：【維持】

建設年度：昭和 54 年度

- ・建設後 40 年近く経過していますが、稼働率、利用者数が高い状況で市内の柔剣道の拠点施設となっています。

機能を維持するため、床の張替えや空調設備などの改修を行います。



■評価

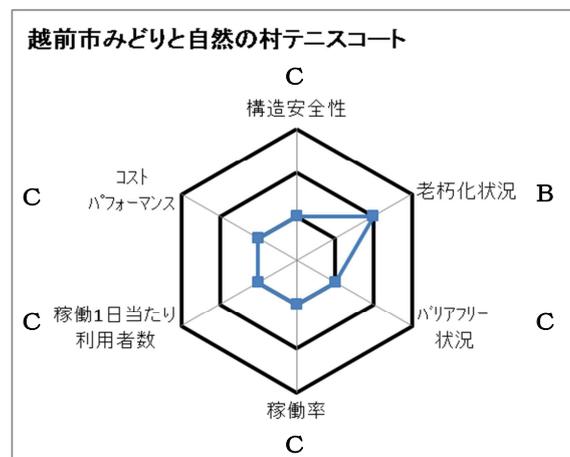
評価項目	評価	評価内容
構造安全性	B	耐震診断の結果、ある程度の耐震性を有している。 I s 値： <u>0.61</u>
老朽化状況	B	建設後の経過年数：20 年 < <u>39 年</u> < 40 年
バリアフリー状況	C	身障者トイレ無し/大きな段差無し
稼働率	A	稼働率： <u>1.00</u> > 0.9 運営日数：300 日、稼働日数：300 日
稼働 1 日当たりの利用者数	A	偏差値： <u>58.6</u> > 55 稼働 1 日当たりの利用者数：76.6 人、利用者数：22,986 人
コスト状況	B	偏差値：45 < <u>50.0</u> < 55 利用者 1 人当たりのコスト：450 円/人



13. 越前市みどりと自然の村テニスコート：【廃止】

建設年度：昭和 56 年度

- ・建設後 35 年以上経過しています。立地条件からテニス目的で訪れる方は少なく、利用者は伸びていません。現在、4 面中、1 面は地下水によりコートが陥没、1 面はコートの亀裂により使用中止としています。コート面の改修に対する費用対効果が悪いため、修繕は行わず廃止とします。
- ・廃止後は、多目的広場として活用します。



■評価

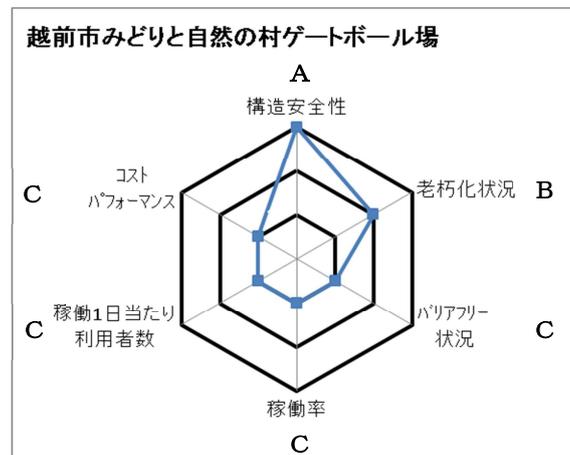
評価項目	評価	評価内容
構造安全性	C	目視点検の結果、コンクリート壁に大きな亀裂が生じている
老朽化状況	B	建設後の経過年数：20年 < 37年 < 40年
バリアフリー状況	C	身障者トイレ無し/大きな段差無し
稼働率	C	稼働率：0.24 < 0.6 運営日数：181日、稼働日数44日
稼働1日当たりの利用者数	C	偏差値：41.9 < 45 稼働1日当たりの利用者数：7.2人、利用者数：317人
コスト状況	C	偏差値：70.5 > 55 利用者1人当たりのコスト：935円/人



14. 越前市みどりと自然の村ゲートボール場：【廃止】

建設年度：昭和 62 年度

- ・建設後 30 年以上経過しています。
- ・市の中心部から離れた立地条件もありゲートボール場としての利用はほとんどありません。
- ・ゲートボール場としては廃止しますが、オートキャンプ場として試験運用した後に、施設の方向性を検討いたします。



■評価

評価項目	評価	評価内容
構造安全性	A	目視点検の結果、構造上の問題は認められない
老朽化状況	B	建設後の経過年数：20年 < 31年 < 40年
バリアフリー状況	C	身障者トイレ無し/大きな段差無し
稼働率	C	稼働率：0.0 < 0.6 運営日数：181日、稼働日数0日
稼働1日当たりの利用者数	C	偏差値：35.9 < 45 稼働1日当たりの利用者数：0人、利用者数0人
コスト状況	C	偏差値：64.1 > 55 利用者1人当たりのコスト：35,988円/人

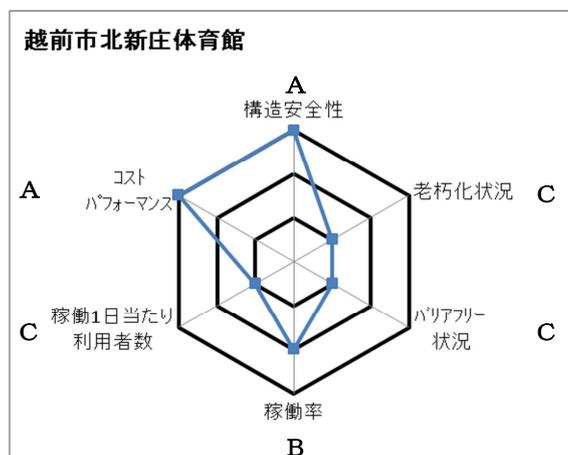


15. 越前市北新庄体育館：【維持】

建設年度：昭和 56 年度

構造：鉄骨造

- ・建設後 35 年以上経過し老朽化が進んでいます。新耐震基準で設計されていますが、バリアフリーには対応できていません。
- ・今後とも機能を維持するため計画的に修繕を行います。



■ 評価

評価項目	評価	評価内容
構造安全性	A	新耐震基準により設計されている
老朽化状況	C	建設後の経過年数： <u>37年</u> > 30年
バリアフリー状況	C	身障者トイレ無し/大きな段差無し
稼働率	B	稼働率： $0.6 < \underline{0.71} < 0.9$ 運営日数：299日、稼働日数：212日
稼働1日当たりの利用者数	C	偏差値： <u>44.0</u> < 45 稼働1日当たりの利用者数：19.1人、利用者数：4,053人
コスト状況	A	偏差値： <u>43.5</u> < 45 利用者1人当たりのコスト：153円/人

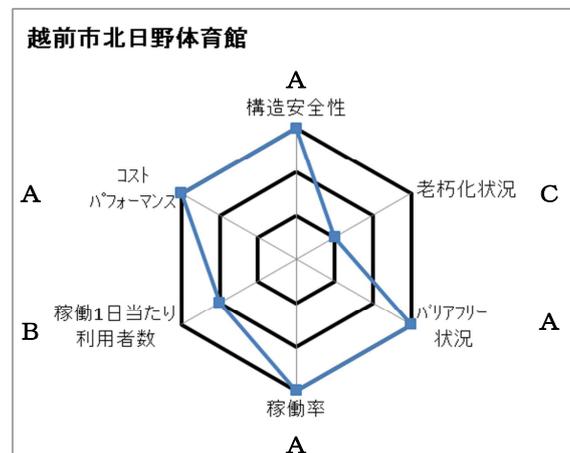


16. 越前市北日野体育館：【維持】

建設年度：昭和 58 年度

構造：鉄骨造

- ・建設後 35 年以上経過し老朽化が進んでいます。新耐震基準で設計されており、バリアフリーには対応済みです。
- ・今後とも機能を維持するため計画的に修繕を行います。



■ 評価

評価項目	評価	評価内容
構造安全性	A	新耐震基準により設計されている
老朽化状況	C	建設後の経過年数： <u>35年</u> > 30年
バリアフリー状況	A	身障者トイレ有り/大きな段差無し
稼働率	A	稼働率： <u>0.98</u> > 0.9 運営日数：299日、稼働日数：292日
稼働1日当たりの利用者数	B	偏差値：45 < <u>45.7</u> < 55 稼働1日当たりの利用者数：31.6人、利用者数9,240人
コスト状況	A	偏差値： <u>39.7</u> < 45 利用者1人当たりのコスト：92円/人

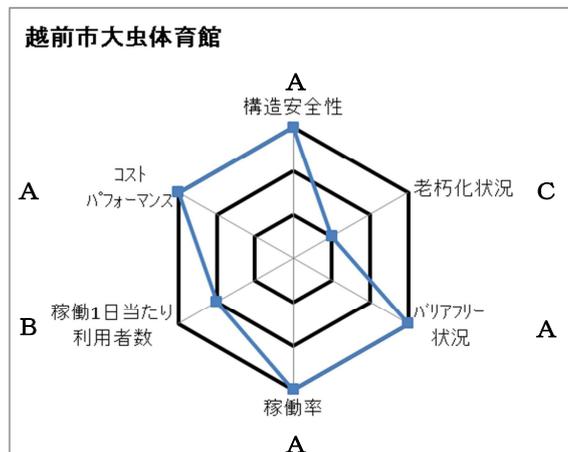


17. 越前市大虫体育館：【維持】

建設年度：昭和 58 年度

構造：鉄骨造

- ・建設後 35 年以上経過し老朽化が進んでいます。新耐震基準で設計されており、バリアフリーには対応済みです。
- ・今後とも機能を維持するため計画的に修繕を行います。



■ 評価

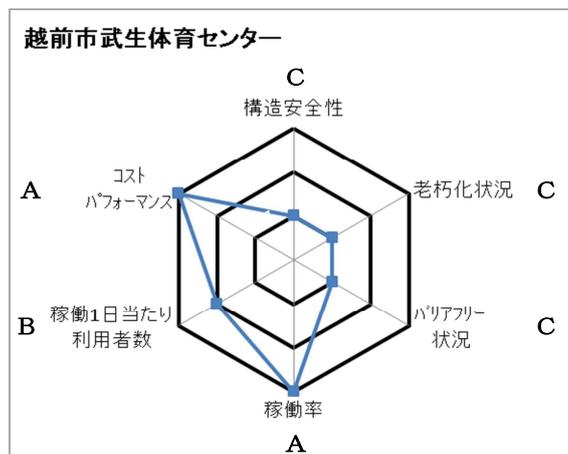
評価項目	評価	評価内容
構造安全性	A	新耐震基準により設計されている
老朽化状況	C	建設後の経過年数： <u>35年</u> > 30年
バリアフリー状況	A	身障者トイレ有り/大きな段差無し
稼働率	A	稼働率： <u>1.13</u> > 0.9 運営日数：299日、稼働日数：339日
稼働1日当たりの利用者数	B	偏差値：45 < <u>46.2</u> < 55 稼働1日当たりの利用者数：35.3人、利用者数：11,980人
コスト状況	A	偏差値： <u>35.7</u> < 45 利用者1人当たりのコスト：29円/人



18. 越前市武生体育センター：【廃止】

建設年度：昭和 52 年度

- ・建設後 40 年以上経過し老朽化が進んでいます。稼働率は高く、利用者数も増加していますが、施設のバリアフリーには対応できていません。
- ・平成 29 年度の耐震診断の結果、E 判定と診断されたため、耐震化工事は行わず、廃止することとします。
- ・武生体育センターは、体操競技を主とした利用形態であるため、今後、後期期間中に所管施設以外も含め、活動先を検討し機能を移転します。



■評価

評価項目	評価	評価内容
構造安全性	C	旧耐震基準により設計されており、耐震診断結果がE判定
老朽化状況	C	建設後の経過年数： <u>41年</u> >30年
バリアフリー状況	C	身障者トイレ無し/大きな段差無し
稼働率	A	稼働率： <u>1.13</u> >0.9 運営日数：300日、稼働日数：340日
稼働1日当たりの利用者数	B	偏差値：45< <u>45.2</u> <55 稼働1日当たりの利用者数：27.6人、利用者数：9,388人
コスト状況	A	偏差値： <u>41.9</u> <45 利用者1人当たりのコスト：127円/人

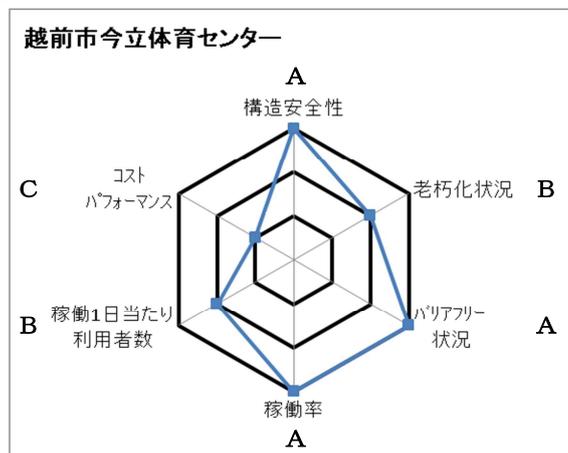


19. 越前市今立体育センター：【維持】

建設年度：昭和 58 年度

構造：鉄筋コンクリート造／鉄骨鉄筋コンクリート造

- ・建設後 35 年以上が経過しています。新耐震基準により設計されており、バリアフリーには対応済みです。
- ・今立地域の拠点施設として、今後とも機能を維持するため計画的に修繕を行います。



■ 評価

評価項目	評価	評価内容
構造安全性	A	新耐震基準により設計されている
老朽化状況	B	建設後の経過年数：20年 < 35年 < 40年
バリアフリー状況	A	身障者トイレ有り/大きな段差無し
稼働率	A	稼働率：1.01 > 0.9 運営日数：300日、稼働日数：303日
稼働1日当たりの利用者数	B	偏差値：45 < 48.1 < 55 稼働1日当たりの利用者数：48.5人、利用者数：14,689人
コスト状況	C	偏差値：63.7 > 55 利用者1人当たりのコスト：473円/人

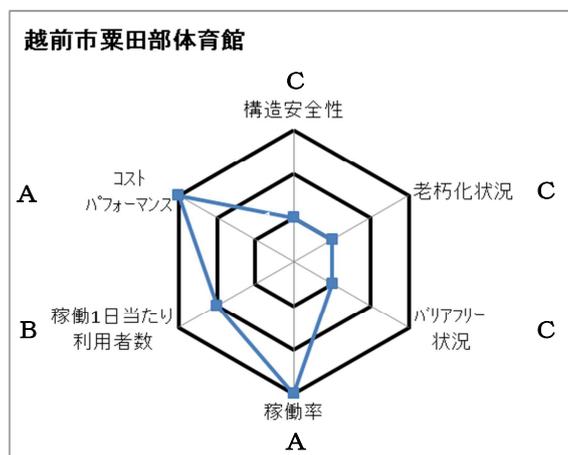


20. 越前市粟田部体育館：【廃止】

建設年度：昭和 49 年度

構造：鉄骨造

- ・建設後 40 年以上が経過し、老朽化が進み、バリアフリーにも対応できていません。しかしながら、利用者は多い状況にあります。
- ・武生体育センターの耐震診断の結果が E 判定だったことから、それより以前に建築された粟田部体育館についての耐震診断は行わず、あいぱーく今立、今立体育センター、学校施設等へ利用者の誘導を図り、廃止します。



■評価

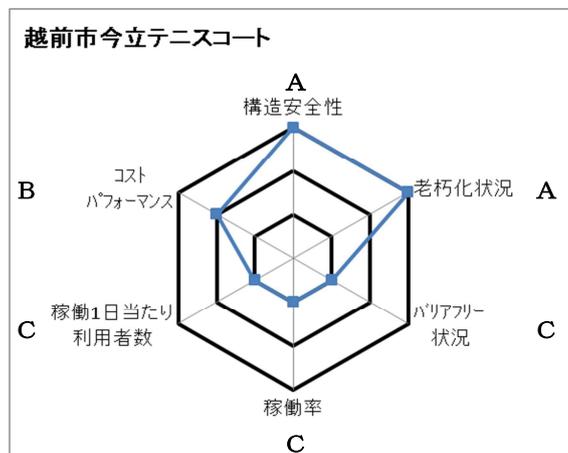
評価項目	評価	評価内容
構造安全性	C	旧耐震基準により設計されており、耐震診断が未実施である
老朽化状況	C	建設後の経過年数：44年 > 30年
バリアフリー状況	C	身障者トイレ無し/大きな段差無し
稼働率	A	稼働率：0.96 > 0.9 運営日数：359日、稼働日数：345日
稼働1日当たりの利用者数	B	偏差値：45 < 46.5 < 55 稼働1日当たりの利用者数：37.3人、利用者数：12,858人
コスト状況	A	偏差値：42.5 < 45 利用者1人当たりのコスト：137円/人



21. 今立テニスコート：【改修】

建設年度：平成 13 年度

- ・建設後 20 年未満の比較的新しい施設です。
- ・周囲の宅地高よりコートが低いため、平成 29 年度の台風でコートが水没し、大規模修繕を行いました。しかしながら平成 30 年度にも水没したことから、今後の大雨対策等を含め、人工芝以外の仕様で改修を行います。



■評価

評価項目	評価	評価内容
構造安全性	A	目視点検の結果、構造上の問題は認められない
老朽化状況	A	建設後の経過年数： <u>17年</u> < 20年
バリアフリー状況	C	身障者トイレ無し/大きな段差無し
稼働率	C	稼働率： <u>0.18</u> < 0.6 運営日数：359日、稼働日数：66日 ※H29.11～H30.4改修期間
稼働1日当たりの利用者数	C	偏差値： <u>42.7</u> < 45 稼働1日当たりの利用者数：11.2人、利用者数：739人
コスト状況	B	偏差値：45 < <u>48.2</u> < 55 利用者1人当たりのコスト：258円/人



第5章 施設の再配置計画のまとめ

1 施設の再配置計画のまとめ

○目標年次までに施設を統廃合

・表5-1のとおり、スポーツ施設再配置計画の実施により、スポーツ施設の数は31施設から20施設程度となります。

・庭球場は、市全体でのコート数を勘案し、武生東運動公園庭球場を川東方面の拠点として整備することを前提に老朽化している施設を廃止します。

表5-1 再配置計画の実施による施設数の変化

用途	計画当初施設数	前期5年の増減数	後期5年の増減数	後期中更新施設	再配置後の施設数
体育館	9施設	△1施設 今立ふれあいプラザ	△2施設 武生体育センター 栗田部体育館		6施設
武道館	3施設		△1施設 帆山公園相撲場		2施設
屋内競技場	1施設	△1施設 高瀬トレーニングセンター			—
水泳場	3施設	△1施設 今立中央公園 水泳場		1施設 武生中央公園 水泳場	2施設
グラウンド	6施設	△2施設 武生中央公園 野球場及び 多目的グラウンド 1施設 越前市サッカー場 (1施設) 武生中央公園 多目的広場			5施設 (1施設)
庭球場	7施設 30面	(1施設) 武生中央公園 多目的広場 (4面)	△3施設 みどりと自然の村 テニスコート4面 帆山公園庭球場2面 今立南部公園 庭球場4面	2施設 武生東運動公園 庭球場 6面→8面 今立テニスコート 2面	4施設 22面 (1施設 4面)
ゲートボール場	2施設		△1施設 みどりと自然の村 ゲートボール場		1施設
合計	31施設	△4施設 (1施設)	△7施設	3施設	20施設 (1施設)

- ・表5-2のとおり、実施計画（後期5年間）では、3施設を更新、7施設を廃止、1施設を移転し、11施設を維持（適宜改修）します。
- ・機能集約化、移転、用途変更、老朽化等により、7施設（帆山公園庭球場、帆山公園相撲場、今立南部公園庭球場、みどりと自然の村テニスコート及びゲートボール場、武生体育センター、栗田部体育館）を廃止します。

表5-2 実施計画（後期5年間）の再配置計画の概要

再配置方針		施設数	該当施設
統合	集約化	7施設	<ul style="list-style-type: none"> ・武生東運動公園庭球場 【更新】 (川東エリアの拠点とするため8コートに増設) ・帆山公園庭球場 【廃止】 ・家久スポーツ公園庭球場 【維持】 ・今立南部公園庭球場 【廃止】 (武生東運動公園庭球場の更新後廃止) ・みどりと自然の村テニスコート 【廃止】 ・今立テニスコート 【更新】 (大雨対策及び人工芝以外の仕様を検討) ・栗田部体育館 【廃止】 (耐震性に欠けるため、利用者移転後廃止)
維持	更新	1施設	<ul style="list-style-type: none"> ・武生中央公園水泳場 【更新】 (4プールを2プールに縮小再整備)
	用途変更	2施設	<ul style="list-style-type: none"> ・みどりと自然の村ゲートボール場 【廃止】 (用途変更後廃止) ・帆山公園相撲場 【廃止】 (用途変更後廃止)
	機能移転	1施設	<ul style="list-style-type: none"> ・武生体育センター 【廃止】
維持		10施設	<ul style="list-style-type: none"> ・家久スポーツ公園温水プール 【維持】 ・家久スポーツ公園ソフトボール場 【維持】 ・今立中央公園多目的広場 【維持】 ・白崎公園屋内ゲートボール場 【維持】 ・瓜生水と緑公園体育館 【維持】 ・越前市武道館 【維持】 ・越前市北新庄体育館 【維持】 ・越前市北日野体育館 【維持】 ・越前市大虫体育館 【維持】 ・今立体育センター 【維持】
合計		21施設	【更新】3 【維持】11 【廃止】7

資料編

資料1 スポーツ推進審議会委員名簿

(敬称略)

No.	氏名	団体・所属等	備考
1	土川 和宏	(一社) 武生医師会	会長
2	野田 政弘	学識経験者	副会長
3	霜 実 男	越前市議会	～平成 30 年 7 月
	清水 一徳	越前市議会	平成 30 年 8 月～
4	牧野 弘嗣	職場スポーツ振興団体	
5	為沢 和憲	連合福井丹南地域協議会	
6	中 ヒロ子	(公社) 越前市スポーツ協会	
7	山本 聰實	越前市スポーツ少年団	
8	片山 伸一	越前市スポーツ推進委員協議会	
9	林 富久子	越前市総合型スポーツクラブ	
10	稲葉 多津子	越前市運動普及推進員	
11	見延 幸英	越前市校長会	

資料2 会議の開催状況

開催日時	主な協議事項
平成 30 年 6 月 14 日	越前市スポーツ施設再配置計画概要説明 前期対象施設の取組み状況説明 後期対象施設の取組み方針説明
平成 30 年 7 月 26 日	越前市スポーツ施設再配置計画見直しについて
平成 30 年 10 月 19 日	越前市スポーツ施設再配置計画見直し (案)
平成 31 年 2 月 14 日	越前市スポーツ施設再配置計画見直し (案)
平成 31 年 3 月	越前市スポーツ施設再配置計画の決定

資料3 施設利用者数推移

No	施設名称	利用人数				
		H25	H26	H27	H28	H29
1	武生中央公園体育館（H29.8改築）	58,444	62,375	56,736	52,313	86,382
2	武生中央公園野球場（H26.10廃止）	8,059	2,220	—	—	—
3	武生中央公園水泳場	7,002	5,080	6,305	5,289	休止
4	武生中央公園庭球場	29,082	30,742	27,394	31,706	31,476
5	武生中央公園弓道場（H26.3新築移転）	4,888	6,118	6,640	7,779	7,451
6	武生中央公園多目的グラウンド（H27.6～工事）	12,700	10,637	106	—	—
	（越前市サッカー場）（H28.4供用開始）	—	—	—	22,182	26,213
7	武生東運動公園ソフトボール場	8,180	8,468	8,899	5,774	7,144
8	武生東運動公園庭球場	1,110	1,979	1,679	1,485	1,207
9	武生東運動公園陸上競技場	12,003	10,705	10,793	14,096	19,880
10	帆山公園庭球場	944	1,037	1,247	640	528
11	帆山公園相撲場	12	0	12	0	0
12	家久スポーツ公園庭球場	2,621	3,162	4,623	4,355	2,661
13	家久スポーツ公園温水プール	15,063	12,493	14,021	13,348	14,988
14	家久スポーツ公園ソフトボール場	2,281	3,291	4,709	3,932	4,777
15	今立中央公園多目的広場	658	539	1,550	922	590
16	今立中央公園水泳場（H25.4廃止）	—	—	—	—	—
17	今立南部公園庭球場	791	644	1,034	1,051	844
18	白崎公園屋内ゲートボール場	6,096	5,497	5,221	4,840	3,796
19	瓜生水と緑公園体育館	5,091	4,462	5,056	5,699	4,219
20	越前市高瀬トレーニングセンター	664	385	1,095	2,148	786
21	越前市武道館	19,736	20,596	21,056	23,628	22,986
22	越前市みどりと自然の村ゲートボール場	0	0	0	0	0
23	越前市みどりと自然の村テニスコート	802	166	627	434	317
24	越前市北新庄体育館	23,392	15,157	13,079	5,280	4,053
25	越前市北日野体育館	12,120	13,157	12,215	10,718	9,240
26	越前市大虫体育館	10,910	10,819	11,388	11,917	11,980
27	越前市武生体育センター	7,605	8,392	8,890	9,227	9,388
28	越前市今立体育センター	13,288	15,142	13,436	15,871	14,689
29	越前市今立ふれあいプラザ（H28.10廃止）	8,409	9,174	9,209	2,497	—
30	越前市粟田部体育館	8,066	9,181	11,693	12,986	12,858
31	越前市今立テニスコート	1,948	1,078	1,318	1,383	739
1	丹南総合公園野球場（H25.9供用開始）	2,373	17,691	15,245	15,631	12,707
2	丹南総合公園多目的グラウンド（H25.9供用開始）	3,251	10,625	15,029	10,376	12,406
3	丹南総合公園体育館（H26.9供用開始）	—	7,893	25,238	22,863	21,846
4	丹南総合公園全天候型球技場（H26.12供用開始）	—	3,137	17,423	4,812	6,531

資料4 施設の利用状況（平成29年度実績による分析結果）

No	施設名称	主な機能	稼働率				稼働1日当たり利用者数			
			運営日数	稼働日数	稼働率	評価	利用者数	稼働1日当たり利用者数	偏差値	評価
1	武生中央公園水泳場※1	水泳場	43	41	0.95	A	6,305	153.8	64.0	A
2	武生東運動公園庭球場	庭球場	359	122	0.34	C	1,207	9.9	42.4	C
3	帆山公園庭球場	庭球場	359	88	0.25	C	528	6.0	41.7	C
4	帆山公園相撲場	武道場	365	0	0.00	C	0	0	36.8	C
5	家久スポーツ公園庭球場	庭球場	359	149	0.42	C	2,661	17.9	44.0	C
6	家久スポーツ公園温水プール	水泳場	299	299	1.00	A	14,988	50.1	48.1	B
7	家久スポーツ公園ソフトボール場	グラウンド	359	97	0.27	C	4,777	49.2	38.1	C
8	今立中央公園多目的広場	グラウンド	359	15	0.04	C	590	39.3	35.9	C
9	今立南部公園庭球場	庭球場	359	103	0.29	C	844	8.2	42.1	C
10	白崎公園屋内ゲートボール場	ゲートボール場	295	233	0.79	B	3,796	16.3	50.0	B
11	瓜生水と緑公園体育館	体育館	308	263	0.85	B	4,219	16.0	43.6	C
12	越前市武道館	武道場	300	300	1.00	A	22,986	76.6	58.6	A
13	越前市みどりと自然の村ゲートボール場	ゲートボール場	181	0	0.00	C	0	0	35.9	C
14	越前市みどりと自然の村テニスコート	庭球場	181	44	0.24	C	317	7.2	41.9	C
15	越前市北新庄体育館	体育館	299	212	0.71	B	4,053	19.1	44.0	C
16	越前市北日野体育館	体育館	299	292	0.98	A	9,240	31.6	45.7	B
17	越前市大虫体育館	体育館	299	339	1.13	A	11,980	35.3	46.2	B
18	越前市武生体育センター	体育館	300	340	1.13	A	9,388	27.6	45.2	B
19	越前市今立体育センター	体育館	300	303	1.01	A	14,689	48.5	48.1	B
20	越前市粟田部体育館	体育館	359	345	0.96	A	12,858	37.3	46.5	B
21	越前市今立テニスコート	庭球場	359	66	0.18	C	739	11.2	42.7	C

※前期5年間で整備、改修した施設を除く

※1：H28は途中から休止、H29は休止したためH27データを使用

資料5 利用者1人当たりコスト状況（平成29年度実績による分析結果）

No	施設名称	主な機能	トータルコスト (円)	利用者数 (人)	利用者1人 当たりコスト (円/人)	偏差値	コスト 状況評価
1	武生中央公園水泳場※1	水泳場	16,014,798	6,305	2,540	63.0	C
2	武生東運動公園庭球場	庭球場	488,926	31,476	405	53.0	B
3	帆山公園庭球場	庭球場	399,497	528	757	64.6	C
4	帆山公園相撲場	武道場	135,081	0	135,081	67.3	C
5	家久緑公園庭球場	庭球場	292,084	1,207	110	43.3	A
6	家久緑公園温水プール	水泳場	24,840,822	14,988	1,657	44.5	A
7	家久緑公園ソフトボール場	グラウンド	920,200	4,777	193	48.8	B
8	今立中央公園多目的広場	グラウンド	693,034	590	1,175	71.5	C
9	今立南部公園庭球場	庭球場	192,170	844	228	47.2	B
10	白崎公園屋内ゲートボール場	ゲートボール場	4,292,015	3,796	1,131	50.0	B
11	瓜生水と緑公園体育館	体育館	1,837,424	4,219	436	61.4	C
12	越前市武道館	武道場	10,352,616	22,986	450	50.0	B
13	越前市みどりと自然の村 ゲートボール場	ゲートボール場	35,988	0	35,988	64.1	C
14	越前市みどりと自然の村 テニスコート	庭球場	296,395	317	935	70.5	C
15	越前市北新庄体育館	体育館	621,469	4,053	153	43.5	A
16	越前市北日野体育館	体育館	853,885	9,240	92	39.7	A
17	越前市大虫体育館	体育館	345,829	11,980	29	35.7	A
18	越前市武生体育センター	体育館	1,188,779	9,388	127	41.9	A
19	越前市今立体育センター	体育館	6,950,996	14,689	473	63.7	C
20	越前市粟田部体育館	体育館	1,767,028	12,858	137	42.5	A
21	越前市今立テニスコート	庭球場	190,363	739	258	48.2	B

※前期5年間で整備、改修した施設を除く

※1：H28は途中から休止、H29は休止したためH27データを使用